

2011年12月15日

## 中国にリチウムイオン電池正極材の製造・販売拠点を新設 ～エネルギー循環型社会実現に大きく貢献する電池材料の事業展開を加速～

**AGC** 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、モバイル機器や電気自動車に用いられるリチウムイオン電池（以下、LiB）部材事業への取組み強化の一環として、LiB正極材<sup>注1</sup>の製造・販売拠点を中国に新設します。当社子会社のAGCセイミケミカル株式会社（以下、AGCセイミ）が、中国のLiB正極材メーカー<sup>注2</sup>を子会社化し、2012年4月頃に生産を開始する予定です。これにより、当社グループにおける当該製品の生産能力は倍増となります。

LiBの世界需要の急速な高まりに伴い、正極材市場は、2010年には民生用を主体に年間4万トンの規模に達しています。さらに、今後は、車載用需要の飛躍的な増加などにより、2020年には年間約30万トンの規模に拡大することが予想されています。

当社グループでは、1990年代後半にLiB正極材事業に参入し、日本国内で生産を行ってまいりましたが、今後の市場拡大に対応するため、製造・販売体制を強化することとしました。このたび子会社化する新社は、当社グループにおけるLiB正極材の海外初の拠点であり、その概要は以下の通りです。

### <新社の概要>

- |         |   |
|---------|---|
| 1. 社名   | 清美通達鋳能科技（無錫）有限公司                                      |
| 2. 所在地  | 中華人民共和国 江蘇省 無錫市                                       |
| 3. 資本金  | 1.5億人民元   |
| 4. 出資比率 | AGCセイミ51%、江蘇凱力克鋳業股份有限公司（以下、KLK社）41%、長瀬産業5%、上海信銘国際貿易3% |
| 5. 設立   | 2012年第1四半期予定 ※中国の関係当局の承認が下り次第、営業を開始。                  |
| 6. 事業内容 | LiB用正極材の製造・販売   |
| 7. 従業員数 | 約100名   |

AGCグループは、エネルギー循環型社会の実現に欠かせないLiBについて、現行の正極材の製造・販売のみならず、自動車用次世代正極材やその他の関連部材開発にも積極的に取り組んでおり、より省エネで快適な暮らしの実現に貢献していきます。

以上

注1：リチウムイオン電池に使われる正極側の電極材料

注2：無錫通達鋳能科技有限公司（KLK社子会社）

<ご参考>

1. 当社グループのLiB正極材製造拠点

日本： AGCセイミ茅ヶ崎工場、鹿島工場

中国： 清美通達鋳能科技（無錫）有限公司【今回新設】

2. AGCセイミケミカル社の概要

(1) 社 名 AGCセイミケミカル株式会社

(2) 所在地 神奈川県茅ヶ崎市（本社）

(3) 資本金 10億円

(4) 出資比率 AGC 100%

(5) 設 立 1947年

(6) 事業内容 電池材料、含フッ素機能化学品、液晶材料、半導体用研磨剤等の製造販売

(7) 従業員数 341人（2011年11月30日現在）

3. 江蘇凱力克鋳業股份有限公司（KLK社）の概要

(1) 社 名 江蘇凱力克鋳業股份有限公司

(2) 所在地 中華人民共和国 江蘇省 泰興經濟技術開發区

(3) 資本金 1.2億人民元

(4) 出資比率 無錫通達進出口貿易有限公司33.8%、通達環球有限公司25.4%、  
上海帆達貿易有限公司8.7%、他32.1%

(5) 設 立 2003年

(6) 事業内容 コバルト金属、コバルト化成品、電解銅等の製造販売

(7) 従業員数 506人（2011年11月30日現在）